

Journal

日本大学法学部の「いま」がわかる広報誌

ジャーナル vol.32

2021 April ▶ September

特集 新入生歓迎号

日法のつながる力

新入生歓迎メッセージ

小田 司法学部長 5学科主任教授

FD委員長 白井哲也教授 大学院法務研究科 須藤典明教授

part 1 新入生の疑問に先輩たちがこたえます

学生座談会



全学年
大集合!

part 2 ゼミ生が聞く

先生の研究 教えてください



松元雅和先生と
ゼミ生



山村りつ先生と
ゼミ生

Journal

32

特集

日法のつながる力

2021 April ▶ September

日本大学法学部 Event Schedule

4月～9月

就職指導課	教務課		研究事務課		
	図書館事務課	大学院事務課	入学センター		
4 April	4月 3日(土)～ 配信	課外講座資格別説明会(オンデマンド)			4月中旬 学生研究室説明会(オンライン) 研 (司法科研究室、司法書士科研究室、 弁理士科研究室、税理士科研究室、 行政科研究室、公認会計士科研究室) 学生研究室新規入室登録受付(オンライン) 研 図書館オリエンテーション 図
	4月下旬	1年生キャリアプランガイダンス 2年生キャリアプランガイダンス			
	4月21日(水)～ 5月 9日(日)	就職支援サイト一斉登録会			
	4月29日(木・祝)～ 5月12日(水)	職業適性検査・性格適性検査			
5 May	5月上旬	優良企業探し方ガイダンス			4月中旬～8月 学祖・山田顕義関連展示会 図 4月29日(木・祝) 講義参加型企画 入
	5月上旬～下旬	公務員業務説明会			
	5月13日(木)	インターンシップガイダンス			
	5月中旬	就職マナーガイダンス			
	5月下旬	リクルートファッションガイダンス メイクアップガイダンス 外国人留学生就職ガイダンス			
6 June	6月中旬	TOEIC講演会			5月 6日(木)・ 7日(金) 履修登録中止期間(前学期開講科目) 教
	6月下旬	問題解決力テスト 行政書士業務説明会 1年生キャリアプランガイダンス 2年生キャリアプランガイダンス 公務員業務説明会			
7 July	7月上旬	夏休みキャリアプランガイダンス			6月中旬 第1回定期無料法律相談会 研 6月19日(土) オープンキャンパス 入
	7月下旬	リスタートガイダンス 夏期合同企業セミナー			
	7月 1日(木)	第1回法務研究科進学相談会 図			
8 August	7月 4日(日)	オープンキャンパス 入			7月 4日(日) オープンキャンパス 入 7月17日(土) 第2回法務研究科進学相談会 図 7月中旬 第2回定期無料法律相談会 研 7月22日(木・祝) 「海の日」は通常どおり授業を実施 教 7月23日(金・祝) 夏季休業開始 教
	7月17日(土)	第2回法務研究科進学相談会 図			
	7月中旬	第2回定期無料法律相談会 研			
	7月22日(木・祝)	「海の日」は通常どおり授業を実施 教			
	7月23日(金・祝)	夏季休業開始 教			
9 September	8月19日(木)・ 20日(金)	前学期末再評価期間 教			8月19日(木)・ 20日(金) 前学期末再評価期間 教 8月下旬 第3回法務研究科進学相談会 図
	8月下旬	第3回法務研究科進学相談会 図			
9 September	9月12日(日)	夏季休業終了 教			9月12日(日) 夏季休業終了 教 9月13日(月) 後学期授業開始 教 9月中旬 第3回定期無料法律相談会 研 9月20日(月・祝) 「敬老の日」は通常どおり授業を実施 教 講義参加型企画 入 9月20日(月・祝)～ 25日(土) 履修登録期間(後学期開講科目) 教 9月23日(木・祝) 「秋分の日」は通常どおり授業を実施 教 講義参加型企画 入
	9月13日(月)	後学期授業開始 教			
	9月中旬	第3回定期無料法律相談会 研			
	9月20日(月・祝)	「敬老の日」は通常どおり授業を実施 教 講義参加型企画 入			
	9月20日(月・祝)～ 25日(土)	履修登録期間(後学期開講科目) 教			

※就職指導課の各種イベント、追加については詳細が決定次第ポータルサイトでお知らせします。

各行事についての詳細は、各担当課にお問い合わせください。

就 就職指導課(10号館2階) shushoku.law@nihon-u.ac.jp 教 教務課(本館1階) kyomu.law@nihon-u.ac.jp

研 研究事務課(5号館1階、学生研究室事務室は5号館2階) kenjimu.law@nihon-u.ac.jp 図 図書館事務課(法学部図書館1階) tosho.law@nihon-u.ac.jp

大 大学院事務課(13号館1階) daigakuin.law@nihon-u.ac.jp 入 入学センター課(本館2階) nyugaku.law@nihon-u.ac.jp

期間中の各イベントは、今後の新型コロナウイルス感染状況により変更となる場合があります。その際は法学部ホームページ、ポータルシステム等でお知らせします。



日本大学法学部 検索 http://www.law.nihon-u.ac.jp

本誌「Journal」のバックナンバーは、法学部ホームページにてご覧いただけます。

2021年4月1日発行 日本大学法学部広報 通巻140号 発行：日本大学法学部企画・広報委員会

「将来の夢と目標に向かって 努力し、挑戦してください」



法学部長 小田 司

皆さん、ご入学おめでとうございます。このたびの世界規模で蔓延している新型コロナウイルス感染症の影響により、私たちの生活環境は多大な制約を受け、これまでに経験したことが無いような状況の中、皆さんは不安な日々をお過ごしのことと思いますが、日常生活において様々な制約を受けながらも、日々勉学に励んでおられることと思います。この4月からは、日本大学法学部の学生として、私たちと共にこの困難な状況を乗り越えていきましょう。

法学部は、幅広い職種に対応できるように、法律、政治経済、新聞、経営法、公共政策の5学科で構成され、皆さんの関心や進路に応じた多様な専門教育を展開しています。皆さんは、大きな夢や目標を持って法学部へご入学されたことと思います。法学部への入学は、皆さんの夢や目標を達成するための第一歩ですが、その夢や目標を実現できるかどうかは、ご自身の努力にかかっています。皆さんは、長い歴史と伝統のある法学部の学生であることに誇りと自覚を持ち、将来の夢と目標

に向かって努力し、果敢に挑戦していくことを期待しています。私たち法学部の教職員一同は、将来の夢をかなえるために積極的に挑戦し、努力している皆さんを全力でサポートして参ります。

また、法学部では、司法試験をはじめとする難関資格試験、検定試験、公務員試験の合格を目指して努力している皆さんを支援するために、学生研究室や多くの課外講座を用意しています。今日まで、皆さんの先輩たちは、各種資格試験や公務員試験などに果敢に挑戦してきました。皆さんも、法学部で何を学び、将来どのような進路を考えているのか、その目的意識を明確に持ってご入学されたならば、その目標を達成できるように、皆さんひとり一人のキャリアアップや資格取得を全面的にサポートする環境を整えておりますので、おおいに活用してください。

まだコロナ禍の厳しい状況が続きますが、健康管理には十分ご留意いただき、これからの学生生活を充実させてください。

皆さんと神田三崎町キャンパスでお会いできますことを楽しみにしております。

新入生の皆さん、 ご入学おめでとうございます。

日本大学法学部は、法律学科、政治経済学科、新聞学科、経営法学科、公共政策学科の5学科で構成され、法を通して社会全体を学べる社会科学の総合学部です。各学科の主任教授より新入生の皆さんにメッセージをいただきました。

法律学科



西原雄二 教授

法学部によこそ！心から歓迎いたします。「法律」というと、難しいイメージがあるかもしれませんが、基礎からコツコツと勉強していけば、理解できます。私達にとって身近で重要な「法律」を学ぶということは、「社会」ひいては「人間」を知ることでもあります。法律の魅力、おもしろさ、奥の深さを実感できるよう、楽しみながら、全力で学んでみてください。夢・希望・志を高く持って、それに向かって、精一杯努力し、悔いのないよう、これからの4年間の大学生活を充実させてください。司法試験、司法書士試験、行政書士試験等の資格試験にもぜひ、積極的に挑戦してみてください。法学部での学びを通じて、物事を自分で論理的に考え、行動できる力を身に付けて、大きく羽ばたいてください。

新聞学科



米倉 律 教授

新聞学科での学びは、メディア、コミュニケーション、ジャーナリズムという3つの領域が柱です。3領域はいずれも、コロナ禍で人と人が対面で会ったり仕事したりする機会が減り、オンライン化が進むなかで、そのあり方が問われ直されると共に、その役割がますます大きくなっています。だからこそ、これから本学科で学ぶ皆さんには、ポスト・コロナ時代に向けた斬新なアイデアや大胆な行動力が期待されます。本学科はこれまで、新聞社、テレビ局、広告業界、ネット業界、エンターテインメント業界などに多くの卒業生を輩出しています。先輩達の伝統を引き継ぎながら、ぜひ新しい時代にふさわしいメディアやジャーナリズムの世界を構想していただきたいと思います。

政治経済学科



岩崎正洋 教授

外出する時はマスクを着けて、手指の消毒を欠かさない毎日になるなど、1年ほど前には想像すらできなかった。1年前に戻ることはできない。高校時代に戻ることができないのと同様に、コロナ禍の生活は、コロナ前と大きく異なり、日常生活も社会も世界も大きく変化した。もちろん、大学生活もコロナ禍で大きく変わらざるを得なくなった。

変化をマイナスにとらえて悲観するよりも、未知の新しい世界が開けていく瞬間に立ち会えるとプラスに考えた方が楽しい日々を過ごせるだろう。新しい世界の政治と経済を本格的に学び始めるには、ちょうど良いタイミングだと思う。まず友人をつくり、伸び伸びと、時には真剣に頭を働かせて4年間を過ごしてほしい。

公共政策学科



水戸克典 教授

日本大学法学部は、どの学科も学生の皆さんの就職支援を重視していますが、公共政策学科は特に公務員や独立行政法人等への就職を考える皆さんのバックアップに力を入れている学科です。公共政策学科には、公務員になる上で、そして公務員になった後も役に立つ科目が多数設置されています。学科では、1年生のうちから必修科目の中などで、公務員になるための動機付けを行いつつ、公務員試験に受かるための具体的な勉強法について教授しています。結果として、法律学科と並び、公務員として社会で活躍できる人材を多数輩出しています。(楽しくて、役に立つ)——入学してくれた全ての皆さんにそう思ってもらえるよう、学科の教員は皆さんを全力で応援します！

経営法学科



中村 進 教授

経営法学科は、企業が必要とする経営と法律について学ぶ学科です。経済のグローバル化が急速に進み、企業には、M&A(合併・買収)、コンプライアンス(法令遵守)・コーポレートガバナンス(企業統治)、知的財産の保護、海外拠点の設置などの様々な問題への対応が求められています。経営法学科には、企業が直面する様々な問題に的確に対応できるグローバルな人材を育成するためのカリキュラムが設置されています。キャリアデザイン(将来設計)に合わせて体系的に学修できるように、「ビジネス法コース」・「国際法務コース」・「知的財産コース」の3コース制が採られていますので、1年次生の間にキャリアについてデザインを描き、2年次からその実現に適したコースを選択してください。ぜひ、デザインしたキャリアを実現しましょう。



皆さん、ご入学、おめでとうございます！
法学部では、皆さんが公務員やジャーナリストや企業人などになる夢を実現するため、さまざまなサポートを用意していますが、弁護士や検事や裁判官になることも考えてみませんか？
「ええっ？ 弁護士になって大丈夫なの？」という方もおいでかもしれませんね。もちろん、大丈夫です。実は、今こそチャンスなのです。
弁護士や検事や裁判官になるには、原則として、法学部を卒業後、法

日本大学の法科大学院（大学院法務研究科）は、都心の水道橋で昼も夜も開講し、少人数制の質の高い授業を行い、令和2年の司法試験では21人が合格し、このうち10人は1回目で合格するという、輝かしい成績を上げています。
しかも、日本大学法学部の法曹コースに入れば、2022年（令和4年）4月から、法学部を3年間で

令和2年司法試験の最終合格者数において、 本学大学院法務研究科が全体13位（私大では6位）

令和2年司法試験の結果が法務省より発表されました。日本大学大学院法務研究科（ロースクール）より21名が最終合格。合格率は過去最高となりました。おめでとうございます！

順位	法科大学院名	受験者数	合格者数	合格率
1	東京大法科大学院	212	126	59.40%
2	慶應義塾大法科大学院	251	125	49.80%
3	京都大法科大学院	185	107	57.80%
4	中央大法科大学院	289	85	29.40%
5	一橋大法科大学院	119	84	70.60%
6	早稲田大法科大学院	208	75	36.10%
7	神戸大法科大学院	126	62	49.20%
8	大阪大法科大学院	90	34	37.80%
9	明治大法科大学院	127	30	23.60%
10	同志社大法科大学院	118	28	23.70%
11	東北大法科大学院	49	26	53.10%
12	名古屋大法科大学院	57	23	40.40%
13	日本大法科大学院	81	21	25.90%
13	九州大法科大学院	45	21	46.70%
15	首都大東京法科大学院	87	20	23.00%
16	北海道大法科大学院	88	19	21.60%
17	創価大法科大学院	47	16	34.00%
18	筑波大法科大学院	56	15	26.80%
19	大阪市立大法科大学院	52	12	23.10%
20	関西学院大法科大学院	46	10	21.70%

※太字は私立大学 出所：法務省発表資料に基づく

「夢を仕事に、そして弁護士・検事・裁判官へ」

日本大学大学院法務研究科教授・専攻主任 須藤典明

科大学院（ロースクール）に進学して司法試験に合格することが必要ですが、一度合格すれば、資格は一生有効です。しかも、10年前は全国に74もの法科大学院が乱立して、1万人以上が司法試験を受けたため、なかなか合格できないとか、弁護士になっても就職先がないなどといわれました。しかし、現在も学生を募集している法科大学院は35校だけで、司法試験の受験者も約4000人程度に減っており、合格しやすくなっているのです。

早期卒業して法科大学院に進学することができ、在学中に司法試験を受けることも可能になります。もちろん、法科大学院でも日本大学の充実した奨学金制度で学びをサポートします。
さあ、皆さんも法学部の法曹コースで学び、法科大学院に進学して、弁護士・検事・裁判官になりませんか。お待ちしております！！



大学院法務研究科は神田三崎町キャンパスの13号館～15号館。法学部の小田司学部長が研究科長を兼務し、法学部との連携体制も整う。



■大学院法務研究科の問い合わせ：
大学院事務課
13号館1階 03-6261-3200
daigakuin.law@nihon-u.ac.jp

オンライン授業への全面移行となった2020年——。 新学期からは、感染症対策を万全にしつつ、 「可能なかぎり対面授業を実施する方針」で準備を進める。

経営法学科
法学部FD委員長 臼井哲也 教授

2020年、その幕開けとともに世界中の大学は、急遽オンライン授業への全面移行を余儀なくされた。先行する米国や欧州の大学の状況を注意深く観察しつつ迎えた3月25日、奇しくも日本大学の卒業式であるその日に東京都の会見において「感染爆発重大局面」が宣言された。これを受け、法学部では、学生の安全と教育機会の継続を是が非でも守るため、オンライン授業への全面移行を迅速に組織決定し、教職員が一丸となって準備に取り掛かった。

5月11日の授業開始後、6月には日本大学全体にて、オンライン授業に関する学生満足度や課題を精査する調査プロジェクトが立ち上がり、学生諸君には何度もアンケート調査に協力いただいた。大学側は学生や教員を対象とした複数のアンケート調査結果に基づき、9月開始の後学期のオンライン授業に対する改善策を打ち出し、迅速に対応した。具体的には、授業内課題（宿題）の量の調整、教員へのITスキル研修の実施（ZoomやGoogleの活用方法）、学生と教員のコミュニケーションを促すための工夫（フィードバックの量と質の改善、少人数の演習科目の一部対面での実施、相談窓口の拡充）、オンライン授業の運営方法を教員間で学び合うシンポジウムの開催などが、8月から12月にかけて次々と実施された。
このように組織的な改善策を立案し、実行してきたものの、現実には、キャンパスに訪れ教員や仲間と語り合うという当たり前の日常が奪われた学生諸君には、大きな精神的な負担を強いることになった。4月から始まる新学期においては、感染症対策を万全にしつつも、「可能なかぎり対面授業を実施する方針」にて準備を進めている。まだ感染症の状況は十分には見通せないものの、日本大学法学部は、笑顔あふれるキャンパスを1日も早く取り戻す努力を教職員一丸となって継続することをお約束したい。ご支援のほど、よろしくお願い申し上げます。

日本大学のFD活動とは

FDとはFaculty Developmentの略で、教育内容・方法などの研究や研修を大学全体として組織的に行うことを意味します。日本大学では、日本大学FD推進センターを設置し、各学部にてFD委員会を設けた全学的組織体制のもとで、FD情報の調査、授業改善のための基本方針の策定など、学生が充実した学修を行えるようさまざまな活動を行っています。

part 1 学生座談会 出席メンバー紹介

新入生



おかざき
法律学科1年 岡崎ゆうなさん
日本大学明誠高等学校卒業。高校時代は野球部のマネージャー。趣味はダンス。コロナ禍で友達ができるのか不安。

新入生



はちまる りょうた
政治経済学科1年 八丸遼大さん
昌平高等学校卒業。高校時代はバドミントン部。趣味は運動と音楽を聴くこと。大学では運動系のサークルを希望。

2年生



すざき あい
経営法学科2年 涸崎亜依さん
サークルはAMY103。特技はテニス。1年生の時はオンライン授業だけで友達ができず、パソコン操作も苦勞した。

3年生



すずき たつみ
新聞学科3年 鈴木竜微さん
柴田秀一ゼミナール、野球サークルlawringsに所属。中国語が堪能。2年生で法律学科から新聞学科に転科。

4年生



さいとう けいいち
政治経済学科4年 齊藤慶弥さん
岩崎正洋ゼミナール所属。趣味はドライブ。アパレルのバイト先の服を愛用。今年、コロナ禍での就職活動に奮闘中。

OG



ほんだ かほ
法律学科卒業 本多果歩さん
野中貴弘ゼミナール出身。特技はクラシックバレエ。調剤薬局・ドラッグストア系企業に2021年4月から勤務。

OB



みはら しょうへい
公共政策学科卒業 三原翔平さん
上村進ゼミナール出身、防具空手道部に在籍。特技はサッカー、空手。墨田区役所に2021年4月から勤務。



しんどう すぎ
司会進行「ジャーナル」編集長 真道 杉 教授

真道 新1年生はまだわからないことだらけだと思うのですが、今とくに何がいちばん不安ですか？

岡崎 コロナ禍での最初の友達作りはどうされたのかって思います。

真道 ではまず、昨年1年間をコロナ禍のオンライン授業で過ごした新2年生の涸崎さんに伺いましょう。

涸崎 私は付属高校出身ではないので、友達が本当に一人もいない状態での入学でした。わからないことがあっても相談できる先輩や友達がおらず、とくに履修登録はとも困りました。そんなときSNSで、大学生になったら始めようと思っていたダンスのサークルの新入生募集を知って。さっそく入部して、Zoomで交友関係を深めることができました。大学の友達はSNSを通じて作るしかなかったです。

真道 新2年生は友達作りでもこれほどとは状況が全く違ったんですね。先輩たちはどうでしたか？

本多 私は日大の付属高校出身だったので、同じ高校から法学部に入学した人が複数人について、新入生ガイド

大学の友達はどうやって作ればいいのですか

スなどはその友達と行って、そこで共通のお友達ができたりしました。

斉藤 1年生の必修科目「自主創造の基礎」と英語のクラスは全く同じメンバーの授業になるので、そこが友達作りのポイントかなと思います。

真道 英語のクラスは週2コマですが「自主創造の基礎」と英語で週に3つの授業が同じメンバーになるわけですね。しかも比較的少人数のクラス制で「自主創造の基礎」はグループワークも多いので結構仲良くなれる。

三原 英語の授業も積極的に発言すると覚えてもらいやすいです。

真道 涸崎さんも1年生の時は3コマ同じメンバーだったと思いますが、オンライン授業ではどんな様子でしたか？

涸崎 私のクラスは基本的にオンデマンド授業で、「自主創造の基礎」が後期からZoomだったんですが、学生の顔出しがないディスカッションだったので、どういう人がいるのかもわからなくて。友達を作ることではできませんでした。

鈴木 オンライン授業ではZoomのブレイクアウトルームでグループ分けする授業もあるんですが、ブレイクアウトルームは友達ができやすいです。

真道 最初の友達作りに関してほかにもアイデアありますか？

注1 「自主創造の基礎」●全学共通初年次教育科目。大学生としての心構えから、レポート・小論文の書き方、プレゼンテーションなど、クラス制の参加型(能動的)学習方法により、大学での学修に必要な能力を修得していく。



特集 日法のつながる力

今号のジャーナルは、新入生歓迎号「日法のつながる力」と題して、小田法学部長をはじめ5学科の先生方からの歓迎メッセージ、学生生活に欠かせない事務局紹介などに加え、先生と学生、先輩と後輩など、日法の伝統の「つながる力」を特集します。コロナ禍でも、大学というプラットフォームで毎日繰り広げられているさまざまなコミュニケーション。人と人がつながることから生まれる新たな力が未来を照らすでしょう。

part 1 全学年大集合！ 学生座談会 新入生の疑問に先輩たちがこたえます

今回はジャーナル初の企画として2021年度新入生2名が早くも参加。「友達の作り方は?」「サークルやアルバイトはどうすればいい?」など入学に際して不安に思っていることや疑問点を、先輩たちがていねいにこたえます。コロナ禍で1年生の時はすべてオンライン授業となってしまった新2年生から、2021年3月に法学部を卒業したばかりのOB・OGまで、先輩たちの体験談は全学生が参考になるはず!



part 2 ゼミ生が聞く～先生の研究について教えてください

part 2では、先生と学生の「つながる力」をお届けします。政治哲学が専門の政治経済学科・松元雅和教授と、障害者政策を研究する公共政策学科の山村りつ准教授にそれぞれのゼミ生が突撃インタビュー! 日々のゼミナール活動や卒業論文の指導など、先生と固い信頼関係があり、先生の研究や人柄を最も近くで見てきたゼミ生が、学生目線で先生の研究に迫ります。





鈴木 友達のことなんですけど、わざと派手な服を着たり、赤髪にして目立つようにしてみました。私も通学用カバンをサメのリュックにして、サメのリュックの子だって覚えてもらうようにしてみました。

真道 最初に印象付けることは大事かもしれないですね。新年度は対面の授業も一部行われるので、新入生も新2年生もキャンパスに来る機会がぐっと増えると思います。ぜひ積極的にお友達を作ってくださいね。

授業で質問があったら どうすればいいですか

真道 八丸くんが先輩に聞いておきたいことはありますか？

八丸 授業でわからない所があった時はどうするのか、オンライン授業などで先生に直接聞けない中でどうすればいいのか聞いておきたいです。

真道 刈崎さんはオンライン授業の1年間ははどうでしたか。

刈崎 シラバスに先生のメールアドレスが載っているのでメールで質問したり、授業のあとにリアクションペーパーで質問したり。あと課題の提出などを

三原 私もいろいろなアルバイトをやりましたが、私の場合は自分が今までやったことのないことをやってみて、自分を試すというか、自分探しのためのアルバイトという感じでした。

真道 やってみて就職活動と結びついたことはありましたか。

三原 直接結びつくというより、仕事を通して自分の長所や短所が見つかったの、それは就職活動の面接でも聞かれるので役に立ったと思います。

本多 私はカフェのアルバイトを4年間続けました。大学以外でも人脈が広がりましたし、就活でアルバイトで

Google Classroomで行う授業があったのですが、そこにコメントする欄があるのでそこで質問したりしていました。

真道 他の人はどうですか。

斉藤 僕もメールで質問したり、先生から返事がきてもまだよくわからなかったら、「Zoomで話そう」みたいなことを言ってくれる先生もいます。

三原 私は4年生になるまでオンラインの授業を受ける機会もなかったのですが、対面の授業の時でも、先生に聞く前に、まずは学生同士で疑問点を聞きあったり、試験前に一緒に勉強したりしていました。

本多 私は先生に直接質問することも結構ありましたが、テスト前にわからないことが出てきた時は、やはり友達に聞いたり、一緒に勉強してテストに向けての問題を解決していました。私は図書館7階のラーニング・コモンズでよく集まっていました。

真道 昨年度はすべてオンライン授業だったので、先生にメールなどで質問する機会が増えましたが、やはり先輩たちは授業でわからないことはまずは友達と確認しあうのですね。そういう意味でも友達作りはとても重要。対面授業が戻って友達同士で話しあえる機会が増えていくといいですね。

のことを聞かれた際に、接客でここが大変だった、こういう時にすごく嬉しかったと自信を持って話せました。

鈴木 私も1年生からカフェ店員をやっています。私の職場は社員さんが多くて「仕事」という雰囲気があるので、就活に繋がりがやすいと思っています。

真道 それぞれ大切な人生経験となりましたね。しかも就職活動にも役立つ。大学の勉強とアルバイトを上手に両立していたのですか。

岡崎 学生時代にやっておいたほうがいいもので、法学部生がとっておいたほうがいい資格とかありますか。

三原 それこそ弁護士を目指すというのでなければ、法学部ならではの、自分が興味ある資格に挑戦すればいいと思います。法学部にはさまざまな資格がとれる課外講座があつて、私は簿記とビジネスマナーを学ぶ秘書技能検定をとりました。

真道 課外講座だけでなく、弁護士や公認会計士を目指す学生研究室もあるの、1年生のうちいろいろな調べてみてください。大学時代はさまざまなことにトライして、自分に合っているものを見極める、そのための4年間。サークルもアルバイトも資格も一つのチャンスとして頑張ってください。

アルバイトやサークル、 資格について聞きたい

八丸 卒業までにこれはやっておいた方がいいというものはありますか。

斉藤 学修と関係ないですけど、車の運転免許はとっておいた方がいい。

岡崎 今教習所に通っていますが、コロナで混んでいて時間がかかりそう。

八丸 高校が免許取るにも面接とか厳しくて、まだ通ってないんです。

真道 でも大学に入ったら自由です。

八丸 はい。高校時代は服装や行動も少し厳しかったので、大学ではすごく自由してみたいなと思います。

真道 「自由」ということでいくと、先輩たちは、大学に入った時にいちばん自由だと思ったことは何ですか。

三原 自分のやりたいことを選べる、自分が取りたい授業を選べますし、サークルに入るとか、資格を取るとか、自分で選んで、自分の可能性が広がるのが大学生の自由かなと思います。

真道 大学生は自由を謳歌できるけれど、それだけに自分で決めなきゃいけないこともたくさん出てくる。

三原 たとえば私は高校までずっと

それぞれの抱負と 新入生へのメッセージ

岡崎 このような機会をいただくまでは、自分が大学生になることも想像できないし、学校でどんなことが起こるのか不安だったので、先輩のお話を聞いて、自分が何をやりたいか具体的に考えてみようと思いました。

八丸 まずはこの貴重な機会をありがとうございます。大学は勉強だけじゃなくて、バイトだったりサークルだったり、そういった自分で決めていくことを見つけていくことが大切なんだってことをすごく思いました。

刈崎 これまで授業が全部オンラインで学校に行く機会も少なく、4月から対面授業にとっても緊張しています。これまでのオンライン授業中心の生活リズムを早く改めなければ。先輩方のように授業もバイトもサークルも両立できる学生生活にしたいです。

鈴木 新入生の皆さんがいちばん不安なのは友達を作ることだと思いますが、友達が欲しいのはみんな同じですから、恥ずかしがらずに話しかけたほうがいいですよ。私は就職活動がよいよが始まるので頑張りたいと思います。

サッカーをやっていたのですが挫折を経験して、大学に入って何か新しいことをやってみようと決めて、自分で選んだのが空手のサークルです。結果、私はサークル活動を通してちょっと自分が変わったなと思って、就職活動でもそれは自己PRでお話ししました。

真道 刈崎さんは念願のダンスサークルに入ったとおっしゃっていました。

刈崎 はい。コロナ禍で直接会って練習することはあまりないので、Zoomを通して踊りを教わったり、ダンスを共有したりできています。

真道 2人とも大学に入ってから新しい挑戦ですね。

斉藤 自分はサークルには入ってなくて、とにかくアルバイトをしようというのがあったので。今はアパレルで働いていますが、実はもう高校2年生から10種類ぐらいアルバイトをしています。レンタカー、居酒屋、ホテル...というんなアルバイトをやりながら、自分に何が合っているのか考える4年間にしたいっていうのが念頭にあって、そういう大学生活を送っています。

真道 それもすごく新しいチャレンジですね。将来の就職活動を見据えてバイト先でいろんな業種を見ていくということですね。

斉藤 今年の就職活動は、昨年同様にインターンや面接がオンラインになり中止になる会社も多く、対策もわからないのですが、とにかく先手先手でいち早くアクションを起こすことを意識して臨みたいと思います。

本多 就職活動では、友達や先輩から自分のいいところや弱いところをたくさん聞いて、友達同士で情報をシェアすることもすごく大切ですよ。1年生の皆さんは、自分がやりたいと思っことは積極的にチャレンジして、これからの大学生活を思いっきり楽しんでください。私も4月から社会人となるので頑張りたいなと思います。

三原 新入生の皆さんには、いろんなことに目を向けて、いろんなことにチャレンジしてほしいです。私も勉強、サークル、アルバイトなど失敗も含めていろんなことを経験したことで、就活に役立つたり、思いもけない自分の新しい可能性を見つけたことができました。4月からは社会人として新たな目標と責任を持って頑張ります。

真道 みなさんのお話を聞いて、大学生活は、人とつながっていくことで、自分のことを発見していく大事な時間なのだと思えて痛感しました。本日はありがとうございました。

注2 [ラーニング・コモンズ] ●法学部図書館7階の全フロアに広がる。自由に動かせる机・椅子・テーブルが用意され、自主学習、グループ学習などを行える場所として利用できる(閉館中の場合あり)。

著作から松元先生の研究を知る



「平和主義とは何か」で2014年石橋湛山賞を受賞



「平和主義とは何か
政治哲学で考える戦争と平和」
(2013年 中公新書)



「正義論
ベーシックからフロンティアまで」
(2019年 法律文化社)



「人口問題の正義論」
(2019年 世界思想社)

■「平和主義とは何か」

「戦後日本は平和憲法から出発しているので、日本人として戦争と平和の問題に取り組む上では平和主義を一つの中心にしたらどうだろうというのがこの本の狙いです」

→「愛する人が襲われても無抵抗でよいのか」「平和主義は非現実的だ」といった批判に答え、説得力ある平和主義の姿を探る。2014年(第35回)石橋湛山賞受賞。

■「正義論」

共著で松元先生は「家族と教育」「戦争」「人口」を執筆。「3つのテーマを正義論として書きました。「正義」というのは一般的な意味ではなく、政治哲学において、法律、規範、ルールにも共通する、その個人や社会にとってどうあるべきか、どう振る舞うべきかという議論です」

■「人口問題の正義論」

共著で松元先生は序章と「人口抑制の道徳的是非」を執筆。「少子高齢化問題の一方で個人の選択というもあり、家族計画の問題はやはり政治の問題であり、社会の問題ですから、それについて政治哲学の観点から書きました。ある小冊子に書いたのが始まりで、後に共著の方々を迎えて書籍化されました」

part 2 ゼミ生が聞く～先生の研究について教えてください

政治経済学科

松元雅和 教授

政治哲学で現代社会の真実を追求

「戦争と平和」を中心に様々なテーマに挑む



Profile

2001年慶應義塾大学法学部政治学科卒、2003年慶應義塾大学大学院法学研究科政治学専攻修士課程修了。2006年英国ヨーク大学大学院政治学研究科政治哲学専攻修士課程修了。2007年慶應義塾大学大学院法学研究科政治学専攻博士課程修了。博士(法学)。島根大学教育学部准教授、関西大学政策創造学部准教授を経て、2018年より本学准教授、2020年より現職。日本平和学会、日本公共政策学会ほか所属。

突撃したのはこの2人



法学科4年 深澤瞬さん



政治経済学科4年 掛端凌雅さん

この機会に先生に聞いてみよう!

掛端 政治哲学は、今後どのように実践応用されていくのでしょうか。

松元 私も共同執筆した「正義論」という本がいろんな大学で教科書として使ってもらっているようで、そういう形で普及してくれるといいなと期待はしています。

それとは別に、研究成果をどうやって広めていくかということですが、やはり研究者の中だけで通用するものではなくて、たとえばコロナの話なら、人々はどういうことを感じているのか、あるいは政治でどんなことが問題になっているのかをよく見極め、それは政治哲学の言葉で表すならばこういうことですよって、そういう流れをもっと重視していくといいのかなと個人的には思っていますね。

その上で、政治哲学をやっている者がその政策やその解決策の提示とどう関わっていくのかということでは、やはり社会、現実との接点に立ち、正義や規範をどう政策に実現し具体化するかっていうことがすごく大事だと思います。

政策評価というのは正義の観点だけではなく、実際にそれが受け入れられるか、国民から支持を受けるかということ

が一つの評価軸になると思います。いくら良いことを言っても、受け入れられなかったら政策としては実現できませんし、政策を実施する側からも目標理想が高すぎてこれは無理だよってのももちろんあると思いますしね。

掛端 政治哲学は理想はもちろん大事だけど、リアルな現実の部分も大事、そのバランスの兼ね合いを取るのが重要なんだということが今日改めてよくわかりました。自分の卒論のテーマが、貧困の救済が善か悪かという研究なので、そういう時にすごく大事になると思います。一般の人にも、政治哲学が現実とリンクさせるものと考えた時に、少しでも取っつきやすいものになるといいなと思いました。

深澤 学科の垣根を越えて、いろんなお話を聞く事で自分の経験、体験になって、そこから知識というのが増えていくんだなあと思っているんで、非常に面白かったです。



松元ゼミ 夏の軽井沢合宿

松元先生の専門分野「政治哲学」とは?

深澤 僕は法律学科ということもあり「政治哲学とは何ぞや」からのスタートでしたが一般の方に向けて改めて。

松元 政治哲学とは、政治学のいち分野ではあるんですね。哲学なので、頭の中で起きてることを言葉にして形にするということなのですが、たとえば今の政治はここがおかしい、政治とはこうあるべきだなど、政治に関しての概念、ものの考え方を形にしていくのが政治哲学です。

日本でも10年くらい前にマイケル・サンデルの「正義論」がブームになったり、センター試験に政治哲学的な問題が入ってきたりしましたが、要は現在の政治が、個人にとってあるいは社会にとってどうあるべきかを議論する、その根本的なものの考え方というイメージでしょうか。

掛端 先生は一貫して「戦争と平和」をテーマにされてますが、そもそもどういった経緯で政治哲学を選ばれたのですか。

松元 私は歴史が好きだったので、大学が法学部政治学科だったので、その中でも比較的人

文系に近い、政治哲学に興味を持ったというのが最初でした。「戦争と平和」に関して言うと、私が大学入ったのが1997年で、コソボ紛争や民族対立、そして2001年の9.11と、さまざまな国際問題がありました。そういう時代の中で、戦争や平和の問題を強く意識したわけです。その頃から、政治学でも国際政治の分野でも、戦争や平和に関する関心の高まりは共通してあったと思いますが、私は私なりに政治哲学の中でそれを扱いたいなということでこれまでやってきました。

掛端 他にもさまざまなテーマに取り組まれてきました。
松元 その時々々の社会状況とリンクしたテーマを取りあげていくので、近年は国際社会の問題として環境の問題や、貿易の問題などにも広がっています。文部科学省の科学研究費での研究「ドローン兵器の是非に関する戦争倫理学的研究」などありますが、今取り組んでるテーマは「公共の利益」です。公共の利益、つまり公益にかなうとか、公益に反するという言い方がありますが、じゃあ公益って何なんだろう、ということが最新の研究になります。これからはさまざまなテーマを政治哲学で追いかけていきたいと思っています。



2012年社会思想史学会で奨励賞を受賞



「入門 障害者政策」
(2019年 ミネルヴァ書房)



「どうする 日本の福祉政策」
(2020年 ミネルヴァ書房)



「精神障害者のための効果的労務支援モデルと制度—モデルに基づく制度のあり方—」
(2011年 ミネルヴァ書房)

著作から山村先生の研究を知る

■「入門 障害者政策」

「障害者政策とはどういうものか分かってもらうために書きました。こういう分野を勉強したい人、自分や家族が障害をもつことになった人に、日本では障害者のためにどういう政策があるかという全体像をつかんでもらう本です」

■「精神障害者のための効果的労務支援モデルと制度」

「2011年の博士論文を本にしたものです。私は現場にいた経験があり、現場で実際に福祉の支援をする時に制度がとてもしづらいつ感じることがあったので、現場で働く人が動きやすい制度を作るべきだという話です」

■「どうする 日本の福祉政策」

共著で山村先生は第8章「政策がもたらす周縁化」を執筆。「障害者政策が手厚くても、それによって障害のない人と完全に分断してしまう、マイノリティー化されていくリスクがある。そういう側面があることを書いています」

この機会に先生に聞いてみよう！

西田 障害者政策にいつ頃から興味を持ったのですか。

山村 もともと学生時代は心理学が専攻だったのですが、ある資格を取るために福祉の勉強をした時に、心理学と福祉って視点が全く違うことに気がついて。心理学は治療という視点で考えるけど、福祉はその人が持っているポジティブな側面を活かしてこうという考え方。どちらも大事なんですけど、福祉の方が自分の考え方に合っていると気づいて、障害者の就労問題から研究を始めたんですね。

田原迫 先生にダイバーシティについて伺います。アルバイトをしている企業と就職を希望する会社が、ダイバーシティという考えを重視していて、さまざまな障害を持った方たちと今一緒に働いているのですが、先生はダイバーシティについてどう考えていますか。

山村 今、ダイバーシティってすごく言われていますが、とくに就労の場では、障害者がダイバーシティという多様性に入らないことが多いという認識だったんです。田原迫くんの話聞いて、障害のある人もダイバーシティの中に入って行く現状があるのはすごく嬉しかったですよ。

ただ一方で、障害者関連の研究の領域ではあまりダイバーシティの話って出てこないんですよね。なぜかと言うと、

山村ゼミでは、3年生と4年生がペアを組んで、先輩が後輩をサポートするメンター制度を導入。学年の違う人とのつながりは貴重な財産となるし、2人の化学反応も楽しみ。

(写真は山村ゼミの箱根合宿)



障害者の側からすると、意識して無理に作るものではないだろうと。ダイバーシティが当然の社会になることが理想なんだろうなって思っています。

西田 私も質問です。私は子どもについて興味があって、ゼミで虐待の本を読んだ時に、何で虐待するんだろうって思いました。親も子ども幸せになるにはどうしたらいいのか。日本と海外のサポートの違いがあったら教えてください。

山村 海外との違いで言うと、欧米は子どもと親を完全に別個の存在としてみるところですね。もちろん親も子ども幸せにっていうのは大前提なのですが、基本的には子どもをきちんと守ることがはっきりしている。日本の場合だと親の権利が尊重されていて、親と子が一緒にいるのが幸せだっていう前提があるんですね。

二人とも引き続き自分のテーマと向き合い、きちんと考えて、自分の言葉で表現していきってくださいね。

公共政策学科

山村りつ 准教授

障害者政策で就労支援を軸に障害者を支える
欧米各国との国際比較にも奔走する

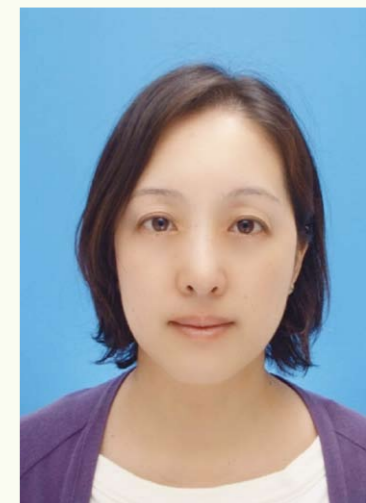
突撃したのはこの2人



公共政策学科4年 西田琴音さん



公共政策学科4年 田原迫優斗さん



Profile

2001年横浜国立大学教育学部生涯教育課程カウンセリングコース卒業。企業勤務などをへて、2011年同志社大学大学院社会学研究科社会福祉学専攻博士前期・後期課程修了。博士(社会福祉学)、精神保健福祉士。同志社大学高等研究教育機構・社会学部特任助教、2014年より本学助教、専任講師を経て2019年より現職。社会政策学会、社会福祉学会、精神障害者リハビリテーション学会ほか所属。

山村先生の専門分野「障害者政策」について

田原迫 先生の研究について改めてお話しください。

山村 障害者の生活を支えるための政策を主題に「障害者政策」を研究しています。もともとは障害者の就労支援や就労支援策の分析に取り組んできたのですが、近年はもう少し大きな枠組みで「障害者政策」として研究しています。障害者政策のことをもっと知ってほしくて入門書を出版したり、日本の障害者政策とはどういうものかというのを深く広く伝えることにも注力しています。

田原迫 先生が一番問題意識を持っているテーマは？

山村 現代社会において障害者の方たちの生活を少しでも改善するために、障害者政策はどうあるべきか、ということです。その前段階として、さまざまな国の障害者政策を調べ、国際比較の研究もしています。

西田 昨年ヨーロッパに在外研究に行かれたよね。

山村 2019年の9月から1年間の予定だったのですが、コロナの影響で帰国が早まり残念でした。ヨーロッパ各地を見て回る予定だったのですが、イギリスに半年、フランスに移ったらすぐロックダウンとなってしまい帰国しました。

西田 両国の障害者政策の状況はいかがでしたか。

山村 障害者政策の根底にある考え方、何を指してその政策を実施するのかという理念や価値が国により異なり、さらに国の成り立ちや文化的な背景も違ってくるので、障害者政策を国際比較するのはとても難しいです。

そもそも「障害者とは」という定義からして根本的に違いますし、障害者の就労に対する社会的な意識も全く違います。たとえば日本では、障害者の就労ってワークショップみたいなイメージで、なかなか雇用という認識にならないのですが、フランスは障害者というより労働者として扱い、働きたい人は働けばいいし、障害者手当てで生活するのも個人の



フランスでの在外研究より

権利。イギリスは障害者の福祉や支援という認識は強いのですが、やはり給付より就労という後押しもあって積極的に進めている。同じヨーロッパでもこんなに違うんだというのは痛感しました。

法学部キャンパスMAP



あとがき

令和2年度は大学生活における人とのつながり、対話の重要性を痛いほど認識させられる1年でした。大学の人達と対話ができる機会の尊さ、少なくなった機会をどのように有意義なものにするのかを否が応でも考える機会となりました。オンラインでも有意義で質の高いコミュニケーションができるこ

とを学んだ1年でもありました。制限があるからこそ、対話ができる機会を作るなら普段より一歩踏み込んでみようと思案したのが今回の特集です。令和3年度もまだまだ制限が多い1年になる見込みではありますが、学生さん達と接する機会を今まで以上に大事に過ごしてゆきたいと思います。

(「ジャーナル」編集長 教授(ドイツ語担当) 真道 杉)

学生生活をサポート!

法学部事務局から新入生の皆さんへ

教務課

本館1階

新入生の皆様、ご入学誠にありがとうございます。教務課は、主に皆さんの学修をサポートする部署です。具体的には、時間割や履修登録、試験や成績、証明書の発行等を取り扱っています。大学では、授業を受けるだけでなく、自身で時間割を組み立て、履修登録という手続きを行います。また、卒業に必要な単位も決まっており、修得するためには4年間の計画的な履修もあわせて必要です。そのため、「学部要覧」が皆さんの大学生活では「要」となります。必ず読むようにしましょう。教務課一同、皆さんの大学生活が充実することを期待しております。分からないことや相談があれば、質問してください。



教務課 本橋美季さん

学生課

本館1階

新入生の皆様、ご入学誠にありがとうございます。学生課では、奨学金に関する対応をはじめ、海外研修旅行や学部祭(法桜祭)などの行事やサークル活動など、学修面以外の学生生活もサポートしております。また、昨今のコロナ禍でご入学された皆様の中には、学生生活に対する不安を感じている方もいらっしゃるかと思います。そうした不安の相談に乗り解決すべく、学生支援コーディネーターとカウンセラーの先生による、学生支援体制も整えております。皆様の学生生活が充実したものととなりますようお祈り申し上げます。



学生課 萩原 駿さん

就職指導課

10号館2階

卒業後、多様な人々と仕事をするためには①主体性や目的意識②行動力・実行力③自己表現・コミュニケーション④柔軟性・協調性が求められます。就職指導課ではこれらの資質を身に付けられるよう低学年からガイダンスやセミナーを開催しています。ただし、ガイダンスやセミナーはきっかけづくりです。学生生活の送り方によって将来のキャリア形成につながってきます。将来について一緒に考えていきましょう。またキャリア支援について資格取得を目指す多様な課外講座も用意していますので、就職指導課からの情報をご確認ください。



就職指導課 秦 諭さん

図書館事務課

図書館1階

新入生の皆様、ご入学おめでとうございます。コロナ禍の困難な時期ではありますが、これからの学生生活をより有意義に過ごしていただくために積極的に図書館を利用し、皆様の研究や勉学に役立ててください。

予習・復習のため、自分の可能性を探るため、見識を高めるために本を検索する以外に、教員・学生間で意見を交わす場所としてもご利用ください。また、図書館7階には「ラーニング・コモンズ」のエリアがあり、自主学习、グループ学習に加え、授業・セミナーなどのために自由にご利用いただけます。図書館スタッフ一同、皆様をできる限りサポートいたします。



図書館事務課 瀬戸口千代さん

入学センター

本館2階

入学希望者向けの学部紹介などのほか、在籍1、2年次生の転部(第一部・第二部間)・転科の出願、選考も担当。
平日 9:00~18:00(土曜9:00~13:00)
03-5275-8503
nyugaku.law@nihon-u.ac.jp

保健室

本館2階

看護師が常駐し、学内でのケガや急病に対して応急的な処置を行ってくれる。週2回、学校医による健康相談もあり。
平日 9:00~18:00(土曜9:00~13:00)
03-5275-8586

会計課

本館1階

学費の納入についての問い合わせ。
平日 9:00~18:00(土曜9:00~13:00)
03-5275-8504
kaikai.law@nihon-u.ac.jp

研究事務課 学生研究室事務室

5号館2階

難関国家試験などの合格を目指す6つの学生研究室(司法科研究室、司法書士科研究室、弁理士科研究室、税理士科研究室、行政科研究室、公認会計士科研究室)の運営。
司法科研究室 03-5275-8757
shihouka2.law@nihon-u.ac.jp
学生研究室(司法科研究室除く)
03-5275-8670

教務課、学生課

平日9:00~18:00 土曜 9:00~13:00 ※日祝休(授業実施日を除く)
教務課 03-5275-8502 kyomu.law@nihon-u.ac.jp
学生課 03-5275-8505 gakusei.law@nihon-u.ac.jp

学生支援コーディネーター(学生課内)
受付時間/平日10:00~17:00 土曜9:00~12:00 ※日祝休
03-5275-8505 gakusei.law@nihon-u.ac.jp

法学部図書館

【利用時間】
9:00~20:00 ※日祝休
03-5275-8620 tosho.law@nihon-u.ac.jp

就職指導課

平日9:00~19:00 土曜9:00~13:00 ※日祝休
03-5275-8509 shushoku.law@nihon-u.ac.jp

※時間については、新型コロナウイルス感染防止により変更となる場合があります。電話、法学部ホームページ等で事前に確認してください。